



# 鉄斎 画業のはじまり

会期

1月15日(水) ~ 3月16日(日)

月曜日休館

但し2月18日(火)より後期展示となります

平成九年今年始めの展示として、ここに鉄斎の画業をその出発点からあらためて振り返ってみることに致しました。鉄斎が九十年にわたる永い画歴を持っていること、特に晩年に制作された多くの名品は鉄斎在世当時から世に迎えられ、美術史上の一ページを飾っていることは周知のことではありますが、その鉄斎の画業の成り立ちについては、案外知られていないのが現状です。幸い私たちの方では、鉄斎のこのあまり世上で見かけない、いわゆる初期の作品の若干を体系的に所蔵していますので、今回それらをまとまった形でご一覽願おうというものです。

これらの作品が描かれたのは、鉄斎にとっては当然のことながら前半生にあたり、実は鉄斎は、当時はいまだ画家としての地位にありませんでした。尤も鉄斎は生涯を通じて自分を絵師だとは思っていませんでしたから、それは別に問題ではありませんでしたが、それでは鉄斎は何者であったかという、まず第一に「学者」であったというのが世評でした。絵画はその学者の余技として多分に趣味的であり、当時の学者、或いはひろく文人の嗜みとしてのそれであって、鉄斎の若年から成人に至る時期には、ひたすら国漢の学書——つまり四書五経をはじめとした内外の古典の習得、そして自らも詩文をつくるなど、学問を以て身を立てるべく努めていました。鉄斎が聖護院に学塾を開いたのは、幕末の文久二年(1862)、27歳の時であり、その五年後の慶応三年(1867)出版の「平安人物誌」には、はやくも儒家・詩人としてその名が挙っているくらいです。

しかしそれより早く、多分文久元年に、鉄斎は長崎を訪れていますので、この時に目のあたりにした中国画——玉石混交で入ってきていた主として明清の絵、そして現実に活動していた長崎派の画人の聲咳は、善かれ悪しかれ若い鉄斎に影響を与えずにはおかなかったでしょう。事実、当時の長崎を通じて輸入されていた数多くの中国の山水画の様式の幾つかは、姿を変えて初期の鉄斎画に影を落していることは否めません。

その後維新の動乱を経て、鉄斎はしばらく復古的ながら今でいう歴史地理学の実地踏査などに情熱を傾けますが、その間日本六十余州の各地を精力的に歩き、世にいう「万卷の書を読み、万里の道を往く」文人画師の金科玉条を実践しました。

明治十四年(1881)、46歳の鉄斎は兄の死を契機として、それまで石上神社、大鳥神社などで勤めた数年間の神官生活に別れをつけ、京都に居を構えて、文字通りの学者文人生活を始めることになりました。したがって鉄斎が本格的に画業に専念し、芸術としての作品を開華させるのは、この後半生以後ということになりますから、今回の展示は多分に修業と吸収の時代を指すということが出来ます。しかしすべての芸術や芸能にイえるように、後年の耀きのためには、それに先立つ精進の年月が重ねられている筈で、このたびの作品の上にもその萌芽が随所にみられ、またその頃にのみに特徴的な清々しさや瀟洒な味わいさえ見てとることが可能です。加えて鉄斎の場合は特に、多岐にわたる学殖が縦横に提示され、それらがしだいに中国画の様式の殻を破り、鉄斎独自の表現が主張されてくる様子も窺うことができるでしょう。特に例えば、蘭亭曲水図(No.63)や群盲評古図(No.64)などにみる作品の完成度は、すでに鉄斎画の特質の一端を雄弁に語り、しかも後半生の作風のスタートでもあるように思われます。

こうした鉄斎の「画業のはじまり」を、その偉大な人間形成の過程と共にご清鑑頂ければ、まことに幸いに思う次第です。

## 《出品目錄》

番号	題名	制作年代	年令	本紙寸法	材質・彩色	形状
1	秋景山水圖	1864(元治1)	29	111.7×30.1	紙本 淡彩	掛軸
2	烟霞幽情圖	1864(元治1)	29	98.5×31.9	紙本 淡彩	掛軸
3	普門大士圖	1866(慶応2)	31	150.1×50.6	紙本 淡彩	掛軸
4	名花十友圖	1866(慶応2)	31	122.0×50.5	紙本 着色	掛軸
5	煎茶圖 蓮月尼歌賛	1866(慶応2)	31	129.0×28.7	紙本 墨画	掛軸
6	藤娘圖 蓮月尼歌賛	1866(慶応2)	31	121.5×40.8	絹本 着色	掛軸
7	蔬菓圖	1866(慶応2)	31	15.8×244.0	紙本 墨画	卷子
8	層巒雨霽圖	1867(慶応3)	32	125.6×39.5	紙本 墨画	掛軸
9	大津繪圖	1867(慶応3)	32	133.0×48.8	絹本 淡彩	掛軸
10	松雪圖 蓮月尼歌賛	1867(慶応3)	32	112.3×29.5	紙本 淡彩	掛軸
11	菖蒲圖 蓮月尼歌賛	1867(慶応3)	32	115.5×30.7	紙本 淡彩	掛軸
12	奴圖 蓮月尼歌賛	1867(慶応3)	32	113.8×47.0	紙本 淡彩	掛軸
13	擬明人筆着色山水圖	1868(慶応4)	33	129.3×42.5	絹本 着色	掛軸
14	山中訪友圖	1868(慶応4)	33	133.4×30.0	紙本 淡彩	掛軸
15	十六羅漢像	1868(慶応4)	33	128.5×28.8	紙本 着色	掛軸
16	十家近青山圖	1869(明治2)	34	126.8×63.5	紙本 墨画	掛軸
17	花瓶圖 蓮月尼歌賛	1869(明治2)	34	135.5×30.6	紙本 墨画	掛軸
18	花卉圖	1869(明治2)	34	125.4×41.9	紙本 墨画	掛軸
19	群卉競芳圖	1869(明治2)	34	126.5×70.4	絹本 着色	掛軸
20	米点山水圖	1869(明治2)	34	173.6×97.5	紙本 墨画	掛軸
21	漁父圖	1869(明治2)	34	104.2×25.5	絹本 淡彩	掛軸
22	菟道製茶・粟田陶窯圖	1869(明治2)	34	(各)130.0×44.4	紙本 淡彩	掛軸
23	青緑山水圖	1869(明治2)	34	143.4×43.4	絹本 着色	掛軸
24	養蚕・農作圖	1869(明治2)	34	(各)129.4×44.2	紙本 淡彩	掛軸
25	高士烹茶圖	1870(明治3)	35	146.5×51.6	紙本 淡彩	掛軸
26	壳飴翁圖	1871(明治4)	36	134.3×61.6	紙本 淡彩	掛軸
27	秋山深趣圖	1871(明治4)	36	157.0×49.0	紙本 墨画	掛軸
28	壳柑者圖	1872(明治5)	37	148.5×49.5	紙本 淡彩	掛軸
29	高千穂峰圖	1872(明治5)	37	134.0×30.6	紙本 淡彩	掛軸
30	美人愛蘭圖	1872(明治5)	37	105.0×47.0	紙本 着色	掛軸
31	紅媒・人物・桂華圖	1872(明治5)	37	(各)120.8×33.4	紙本 着色	掛軸
32	野遊賞月圖 蓮月尼歌賛	1873(明治6)	38	15.3×44.8	紙本 墨画	扇面掛軸
33	溪山真楽圖	1874(明治7)	39	178.3×60.0	紙本 淡彩	掛軸
34	淵明隱栖圖		30代	139.1×50.6	紙本 淡彩	掛軸
35	華甲圖		30代	125.0×30.5	紙本 墨画	掛軸
36	谿巒秋色圖		30代	119.2×43.0	絹本 淡彩	掛軸
37	江山雪霽圖		30代	130.0×41.7	紙本 淡彩	掛軸
38	高人泛舟圖		30代	124.0×41.0	絹本 淡彩	掛軸
39	国色天香圖		30代	134.0×52.3	紙本 淡彩	掛軸
40	山居清娛圖		30代	128.0×52.0	紙本 淡彩	掛軸
41	雪中牡丹圖		30代	123.3×36.2	紙本 淡彩	掛軸
42	層巒茂樹圖		30代	132.3×48.4	紙本 着色	掛軸
43	蔬菓圖		30代	138.2×48.1	絹本 着色	掛軸
44	蘇公泛舟圖		30代	116.9×34.0	絹本 着色	掛軸
45	梅林高士圖		30代	127.0×55.0	紙本 淡彩	掛軸
46	瀑布圖		30代	113.2×37.2	絹本 墨画	掛軸
47	峰巒明秀圖		30代	130.0×49.5	絹本 墨画	掛軸
48	落花遊魚圖		30代	127.5×54.0	紙本 淡彩	掛軸

番号	題名	制作年代	年令	本紙寸法	材質・彩色	形状
49	富士画 東久世通禱歌贊		30代	30.4×70.6	絹本墨画・墨書	額装
50	竹窓 聴雨 図	1875(明治8)	40	171.5×66.4	絹本 墨画	掛軸
51	遊戯人物 図	1875(明治8)	40	132.3×38.3	紙本 淡彩	掛軸
52	溪山真楽 図	1875(明治8)	40	147.9×79.0	紙本 淡彩	掛軸
53	採蘭 図	1875(明治8)	40	137.3×61.7	紙本 淡彩	掛軸
54	妹勢山真景 図	1879(明治12)	44	122.3×33.2	絹本 淡彩	掛軸
55	陶淵明 像	1880(明治13)	45	132.1×50.7	絹本 淡彩	掛軸
56	漁父打網 図	1880(明治13)	45	134.0×51.3	絹本 着色	掛軸
57	溪山無尽 図	1881(明治14)	46	14.3×46.6	紙本金地・墨画	扇面額装
58	秋山暮雲 図	1882(明治15)	47	129.0×50.0	絹本 淡彩	掛軸
59	竹溪観瀑 図	1882(明治15)	47	130.7×48.0	紙本 淡彩	掛軸
60	天恵八音 図	1882(明治15)	47	132.5×63.5	紙本 淡彩	掛軸
61	北野大茶湯 図 卷	1882(明治15)	47	31.1×535.3	紙本墨書・淡彩	卷子
62	漁隱 図	1884(明治17)	49	146.3×80.6	紙本 墨画	掛軸
63	蘭亭曲水 図	1884(明治17)	49	135.4×50.4	絹本 着色	掛軸
64	群盲評古 図	1884(明治17)	49	182.8×86.6	紙本 着色	掛軸
65	畝傍山御陵之 図		40代	113.0×52.0	絹本 淡彩	掛軸
66	峨山春晓 図		40代	144.6×57.1	絹本 着色	掛軸
67	花中君子 図		40代	67.0×30.6	絹本 着色	掛軸
68	古木竹石 図		40代	145.0×38.5	紙本 淡彩	掛軸
69	採蘭 図		40代	139.0×35.7	紙本 淡彩	掛軸
70	山居掃塵 図		40代	146.0×34.0	絹本 着色	掛軸
71	層巒積翠 図		40代	138.1×40.2	絹本 墨画	掛軸
72	竹林銷夏 図		40代	146.6×38.4	紙本 淡彩	掛軸
73	竹林幽栖 図		40代	150.0×51.5	絹本 淡彩	掛軸
74	売卜者 図		40代	130.6×49.4	紙本 淡彩	掛軸
75	蘭竹 図		40代	137.3×61.7	紙本 淡彩	掛軸
76	陸羽 像		40代	125.5×28.2	紙本 墨画	掛軸
77	那智瀑布 図		40代	178.5×47.2	紙本 墨画	掛軸
78	殖産富強 図		40代	138.8×34.0	紙本 墨画	掛軸
79	貧窮問答 図 卷		40代	34.9×222.1	絹本 淡彩	卷子
80	耶馬溪 図 卷		40代	19.0×336.0	絹本 着色	卷子
81	晚山 図		40代	(各) 22.1×17.0	絹本 墨画	画帖貼交
82	蔬菜 図		40代	(各) 25.1×50.4	絹本 淡彩	小襖

[粉本]

番号	題名	制作年代	年令	本紙寸法	材質・彩色	形状
1	鳥獣人物戯画 鳥羽僧正筆	1883(明治16)	48	33.6×586.2	紙本 墨画	卷子
2	集外歌仙 図		40代	29.4×334.6	紙本 淡彩	卷子
3	天逆鋒 図 卷	1870(明治3) 1872(明治5)	35 37	27.0×498.0	紙本 着色	卷子

作品の賛文訓読・大意はパネルで展示してありますが、そのうち訓読は原則として現代仮名遣いとし、漢字は通行の文字を用いました。誤字、脱字は「鉄斎研究」により補正しました。